

海老名市立上星小学校 学校運営協議会 議事録  
(令和4年度 第2回)

- 1 日時 令和4年9月27日(月) 10:00～
- 2 場所 海老名市立上星小学校 校長室
- 3 出席委員 栗山明郎学校運営協議会委員長、小島洋人委員、樋口るり子委員、  
和田波代校長、五十嵐光教務、大林讓教諭

4 会議内容

(1) 挨拶

・学校運営協議会委員長(栗山明郎学校運営協議会委員長)

：学校関連のことやコロナ対応について、何か協力できることがあれば協力していきたい。

・学校長(和田波代校長)

：夏休みの作品展では多くの保護者の方がいらしてくださいました。5年生の野外教育活動は、予定通り行くことができました。学級閉鎖をするクラスがあった。6年の修学旅行では、台風の影響のため2時間遅く出発し、活動時間は変えずに進めることができました。また、コロナ化の中、全員が修学旅行に参加し、子どもたちも楽しそうに過ごしていた。バスは4台で行き、感染症対策のため、車内ではバスレクはなしでDVDを見て過ごしていた。

(2) 議題

・通学路の安全確保に向けた取組

(ゴミ置き場・立哨について)

1丁目のゴミ置き場はグリーンベルトの所までゴミが落ちていて、それを避けて通るので、通学路として危険である。1丁目のゴミ置き場の変更してもらえるように交渉している。1丁目や国分北の方も危険な所が多くなっているため、保護者の方々を多く配置している。保護所の立哨は学期に1度行っている。1丁目の地域の人は毎日立哨をしている。民生委員も立哨をやってくれている。

(交通指導について)

学校で遊んだ帰りなど坂道を自転車で下ることが多いので、坂道の自転車の乗り方を指導してほしい。

・学校支援についての具体的な協議

上星フェスティバル、ご協力いただきありがとうございます。

(海老名の歴史や史跡について)

地域の歴史を子どもと一緒に勉強する機会がない。ぜひ、子どもたちがこの地域には価値があることを理解してほしい。史跡に関しての資料はある。観光協会もなくなっている。学校教育に海老名の歴史を入れて欲しい。

(お米作りについて)

自分たちで育てることの大切さを知ってほしい。お米作りを学校教育に組み込んで欲しい。学校応援

団も協力できる。

**(運動会について)**

今年は、学年を分けて実施する予定。来年度は、コロナの状況をみて可能ならば学年を分けずに実施していきたい。子どもたちも高学年が低学年のお世話をすることや係活動の大切さを実感できる場だと思う。

**(小中一貫教育・学区について)**

小中一貫教育は、なかなか難しいのではないかと。教員を減らそうとしているように思う。学区の分け方がおかしい場所があるのではないかと。

**(2分の1成人式)**

自分で調べて、発表することが良かった。また、2分の1成人式を取り組んでほしい。

**(音楽発表会)**

音楽発表会を参観させてほしい。音楽発表会など目標があると子どもたちの成長にもよい。

**(防災訓練について)**

学校とは直接関係ないが、地域の9月の防災訓練のとき、校舎の1館、2館、3館をどの館か分かりやすく、表示するとよいと思った。地域の人も防災訓練のとき、やらされている感覚ではなく、自主的に本番みたいな気持ちで取り組んで欲しいと感じた。

**(除草作業について)**

10月に PTA 本部が中心となり運動会前に除草作業を行ってくださることになりました。地域で声をかけていった方がよい。また、場所を分けて日にちをずらしてしてもいいのではないかと。全員で一週にするのは難しい。

**5 次回の予定**

○第3回 ・ ・ 令和5年2月3日（金）10時～ 校長室